

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について
(2014年11月 検針分)

2014年6月～2014年8月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2014年11月 検針分の単位料金は2014年10月 検針分 に比べて、1m³(45MJ)当り
▲ 0.6426 円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 ▲ 17 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金 (消費税込)

	単位	2014年10月 (A)	2014年11月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	256.7204	256.0778	-0.6426
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	198.7269	198.0843	-0.6426

●平均原料価格

	単位	2014年5月 ～ 2014年7月	2014年6月 ～ 2014年8月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	85,790	85,000	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	88,740	89,540	
平均原料価格	円/トン	86,270	85,560	62,680

平均原料価格=LNG平均価格×0.9533+LPG平均価格×0.0506

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100,290円以上となった場合は100,290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)
= 85,560 - 62,680 = 22,800 円/トン
(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.085×原料価格変動額÷100円×(1+消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2014年11月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	235.1474	256.0778	20.9304
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	177.1539	198.0843	20.9304

(小数点第5位以下の端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2014年10月	(B) 2014年11月	影響額 (B)-(A)
26	7,298	7,281	-17

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)